

放射線災害医療学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Nakazawa Y, Hara Y, Oka Y, Komine O, van den Heuvel D, Guo C, Daigaku Y, Isono M, He Y, Shimada M, Kato K, Jia N, Hashimoto S, Kotani Y, Miyoshi Y, Tanaka M, Sobue A, Mitsutake N, Suganami T, Masuda A, Ohno K, Nakada S, Mashimo T, Yamanaka K, Luijsterburg MS, Ogi T: Ubiquitination of DNA Damage-Stalled RNPII Promoters Transcription-Coupled Repair. Cell 180(6): 1228-1244, 2020 . (IF: 41.582) ☆*
2. Jang S, Suto Y, Liu J, Liu Q, Zuo Y, Duy PN, Miura T, Abe Y, Hamasaki K, Suzuki K, Kodama S: CORRIGENDUM TO: CAPABILITIES OF THE ARADOS-WG03 REGIONAL NETWORK FOR LARGE-SCALE RADIOLOGICAL AND NUCLEAR EMERGENCY SITUATIONS IN ASIA. Radiat Prot Dosim 188(2): 270, 2020 . (IF: 0.972) *
3. Kudo KI, Takabatake M, Nagata K, Nishimura Y, Daino K, Iizuka D, Nishimura M, Suzuki K, Kakinuma S, Imaoka T: Flow Cytometry Definition of Rat Mammary Epithelial Cell Populations and Their Distinct Radiation Responses. Radiat Res 194(1): 22-37, 2020 . (IF: 2.841) *
4. Doi K, Kai M, Suzuki K, Imaoka T, Sasatani M, Tanaka S, Yamada Y, Kakinuma S: Estimation of Dose-Rate Effectiveness Factor for Malignant Tumor Mortality: Joint Analysis of Mouse Data Exposed to Chronic and Acute Radiation. Radiat Res 194(5): 500-510, 2020 . (IF: 2.841) *
5. Kaminaga K, Hamada R, Usami N, Suzuki K, Yokoya A: Targeted Nuclear Irradiation with an X-Ray Microbeam Enhances Total JC-1 Fluorescence from Mitochondria. Radiat Res 194(5): 511-518, 2020 . (IF: 2.841) *
6. Iwadata M, Mitsutake N, Matsuse M, Fukushima T, Suzuki S, Matsumoto Y, Ookouchi C, Mizunuma H, Nakamura I, Nakano K, Sakamoto A, Hirokawa M, Ito M, Naganuma H, Hashimoto Y, Shimura H, Yamashita S, Suzuki S: The clinicopathological results of thyroid cancer with BRAFV600E mutation in the young population of Fukushima. J Clin Endocr Metab 105(12): dgaa573, 2020 . (IF: 5.958) *
7. Oka Y, Hamada M, Nakazawa Y, Muramatsu H, Okuno Y, Higasa K, Shimada M, Takeshima H, Hanada K, Hirano T, Kawakita T, Sakaguchi H, Ichimura T, Ozono S, Yuge K, Watanabe Y, Kotani Y, Yamane M, Kasugai Y, Tanaka M, Suganami T, Nakada S, Mitsutake N, Hara Y, Kato K, Mizuno S, Miyake N, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kito S, Isoyama K, Onodera M, Kaneko H, Matsumoto N, Matsuda F, Matsuo K, Takahashi Y, Mashimo T, Kojima S, Ogi T.: Digenic mutations in ALDH2 and ADH5 impair formaldehyde clearance and cause a multisystem disorder, AMeD syndrome. Sci Adv 6(51): eabd7197, 2020 . (IF: 14.136) ☆*

B 邦文

B-c

1. 光武 範吏：内分泌腺腫瘍（第2版）－基礎・臨床研究のアップデート－：甲状腺癌の分子標的治療の基礎. 日本臨床 78(4)：418-422, 2020

B-e

1. 松瀬 美智子, 田中 彩, 中尾 朋恵, サエンコ ウラジミール, 三島 博之, 吉浦 孝一郎, 山之内 孝彰, 崎村 千香, 矢野 洋, 大坪 竜太, 西原 永潤, 廣川 満良, 宮内 昭, 山下 俊一, 光武 範吏：甲状腺乳頭癌におけるTERTプロモーター領域のメチル化と mRNA発現の検討. 日本内分泌学会雑誌 95(4)：1339, 2020

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	0	3	0	4

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
光武範吏・教授	編集委員	Thyroid Endocrinology, Frontiers in Endocrinology
光武範吏・教授	国際編集委員	Arquivos Brasileiros de Endocrinologia e Metabologia
光武範吏・教授	理事	日本甲状腺学会
光武範吏・教授	評議員	日本内分泌学会
光武範吏・教授	スーパーサイエンスハイスクール事業に係る運営指導委員	長崎県立長崎西高等学校
鈴木啓司・准教授	評議員	日本放射線影響学会
鈴木啓司・准教授	編集委員	日本放射線影響学会

鈴木啓司・准教授	評議員	日本癌学会
鈴木啓司・准教授	福島県「放射線と健康」アドバイザー	福島県
鈴木啓司・准教授	低線量率放射線影響に対する修飾要因実験調査委員会委員	公益財団法人 環境科学技術研究所
鈴木啓司・准教授	統一的な基礎資料検討委員会委員	日本エヌ・ユー・エス株式会社
鈴木啓司・准教授	動物実験線量効果検討ワーキンググループ委員	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
鈴木啓司・准教授	放射線リスク・防護研究基盤運営委員会委員	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究（萌芽） 乳癌細胞を用いたバイオアッセイによるDNA相同組み換え能と遺伝子変異のカタログ化
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化B） チェルノブイリ放射線誘発甲状腺がんの遺伝子バンク設立と分子遺伝疫学国際共同研究
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究（萌芽） ロングリード配列決定法による放射線被ばく刻印の同定
光武範吏・教授	環境省	代表	放射線の健康影響に係る研究調査事業 ロングリード解析を用いた放射線刻印の同定と福島小児甲状腺癌への応用
光武範吏・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	分担	難治性疾患実用化研究事業 ゲノム不安定性疾患群を中心とした希少難治性疾患の次世代マルチオミクス診断拠点構築
光武範吏・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究A（一般） 環境ストレス応答・ゲノム修復システムの破綻により発症する疾患の病態解明
鈴木啓司・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究C 放射線誘発発がん変異のゲノム・エピゲノムシグニチャーの解明
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	放射線の健康影響に係る研究調査事業 成体期の生活習慣等の低線量放射線発がんリスクに及ぼす影響とメカニズム解明
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	放射線の健康影響に係る研究調査事業（若手加速事業） 組織における放射線障害および組織反応の解析
鈴木啓司・准教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	分担	創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業 がん放射線治療の線量大幅低減と予後改善に向けた分子標的増感剤の探索
鈴木啓司・准教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	分担	創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業 実践ナレッジとイノベーションで拓くリード創出
鈴木啓司・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C 物理的手法と生物学的手法の併用による腫瘍核医学の効果最大化とリスク最小化
松瀬美智子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究C 増悪する甲状腺乳頭癌を予測できる分子マーカー：さらなる高精度化と細胞診への応用
光武範吏・教授	コスミックコーポレーション・東洋鋼板株式会社	共同研究	甲状腺がん関連遺伝子変異検出用キットの評価に関する共同研究

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
児島将康・教授	非常勤講師（内蔵機能・体液系I）	久留米大学分子生命科学研究所
浦野 健・教授	非常勤講師（先端放射線医療科学特論）	島根大学医学部

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
鈴木啓司・准教授	放射線の人体への影響	読売新聞	2020年8月7日	原爆投下から75年、放射線の人体への影響について、高い線量の放射線を浴びると、細胞の設計図となるDNAが傷つき、細胞分裂が止まらない「がん細胞」ができるとされてきたが、これだけではがん化を説明できないと主張、「高線量被曝で人体の自然な働きが大きく崩れ、がん細胞が排除されにくくなるとともに、がんがふえやすくなるのではないかと新たな仮説を提唱。
松瀬美智子・助教	甲状腺がんの悪性度の違いを規定する分子メカニズム	長崎新聞	2021年1月12日	優れた研究成果を挙げた学内の若手女性研究者を顕彰する第5回「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」の授与式において、将来性に期待する「優秀女性奨励賞」を受賞し、活動科目について医学の先端的な研究を発表した。